

活動名：熊倉 S S S さん主催 交流試合  
日程：平成 27 年 7 月 18 日（土）～ 19 日（日）  
会場：猪苗代町陸上競技場サブグラウンド  
参加：5 年生、G クラス  
帯同：小松コーチ

夏休み入りたての連休中、熊倉 SSS さんから交流戦のお誘いを受けて参加しました。  
この交流戦は熊倉スポーツ少年団の保護者主催となっており、熊倉さんは合宿とぶつけて  
楽しい夏の思い出を全面に打ち出していました。

もちろん参加チームは喜多方が多くはありましたが昨今の少子化により、うまく人数が揃  
わない感があり、下の年代では低学年の構成が多く見られました。

ただしそこは交流戦、チーム選抜やガールズチーム、リフティング大会、保護者対選手選  
抜など様々な趣向を凝らしたサッカーがあり、丸 2 日間を通して時間が足りなくなると言  
う難しい問題も起きるほどチーム一丸となってボールを追いかけました。

世代を超えてボールを蹴って喜べる交流戦となったこと、なでしこ宮間さんが提唱する文  
化ってこう言うことかなとちょっぴり考えました。

さて私は 5 年生とガールズを帯同させて頂きました。  
5 年生はリフティング選抜で関東圏と戦える茨城遠征組とそこまでは及ばないまでも決し  
て引けを取らない組 2 チーム編成で参加させて頂きました。  
また茨城組には本来の 6 年生ガールズが加わり 6 年生がまとめるという一体感を要求しま  
した。

1 日目は紬ちゃんが試合の存在感そのままに見事にチームをまとめていました。

2 日間を通してこんなこともありました。

選手自らチームオーダーを考え提示して来たのです。

正直かなりのところまで私のオーダーとリンクしており相当お互いを感じあっているなど  
感心してしまいました。

これは 2 クラスで起きたことです。

本当に素晴らしいと感心するとともにある気持ちも頭をもたげて来ました。

勝てればいいのか？勝てば官軍なのか？

勝つために練習して勝ちを目指して頑張ることはスポーツの原理原則に乗っ取り大変素晴  
らしいことです。

しかし勝つことと同じくらい人間力も身に着けなくてはなりません。

用は勝つことでより本物のプレーヤーになることです。

さて本物とは？

私達のベンチまわりには昼食後相変わらずゴミが散らかっていました。

ある保護者は見兼ねて片付けをして下さいました。

本当にすみませんでした。

休み時間にはわざと合宿を考えて5年生全員とガールズを2チームに分けてボールを蹴ってもらいました。

もちろん試合ベースではなく。

しかしある選手は涙して私に訴えかける出来事となってしまいました。

そして年頃なのでしょう。相変わらずガールズとは握手や挨拶が心通っていません。

と少なからず書いてみました。

と言うことはコーチである私も本物でもなく甘いのでしょうか。

しかし努力することは出来ます。

本物ではなくても本物志向になることは出来るのではないのでしょうか？

と言うことは選手もより以上の努力で勝つことと、より以上の人間力が学べるはずですよ。

ここをうまく伝えていけたらと考えております。

朝早くから本当に御参加、御協力をありがとうございました。

これからも私達コーチはあれこれたくさんのアプローチを選手にしていきます。

御協力、御理解をよろしくお願い致します。

また熊倉スポーツ少年団の保護者の皆様

鶴川様、今回は大変ありがとうございました。

兄弟チームとしてこれからも末永くよろしくお願い致します。

ありがとうございました

コーチ：小松



